

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010beip1(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)みやけの里	階数	地上3F
建設地	大阪府茨木市丑寅2-163他	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	50人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年5月 予定	評価の実施日	2014年8月1日
敷地面積	1,739 m ²	作成者	(株)広谷建築総合事務所 石谷彰敏
建築面積	872 m ²	確認日	2014年8月14日
延床面積	2,247 m ²	確認者	(株)広谷建築総合事務所 石谷彰敏

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	22%
③上記+②以外の	22%
④上記+	22%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	3.2
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7

機能性	3.0
耐用性	2.9
対応性	2.3

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.9

建物の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

水資源	3.0
非再生材料の	2.9
汚染物質	2.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	5.0
地域環境	2.5
周辺環境	2.4

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地形状に合わせ建物を配置し、低層に押さえることにより、周辺環境への影響に配慮した。また屋上にはコケによる植栽を行い熱環境への負荷軽減を考慮した。	
その他	特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> 音環境への配慮(開口部遮音性能T-2) 光・視環境(バルコニーにより直接日射量の低減/カーテン及び庇によりグレアを制御等) 空気質環境(F☆☆☆☆建材の採用等) 	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー計画(段差の解消・手摺の設置等円滑化基準の遵守) 維持管理(掃除用コンセント設置等) 信頼性(通信手段の多様化の構築等) 	<ul style="list-style-type: none"> 生物環境の保全(緑地の維持管理に必要な設備を設置し、管理方針を計画等) まちなみ・景観(敷地周囲の緑化)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> 建物の熱負荷抑制(外壁ALC及び断熱材による熱負荷抑制) 	<ul style="list-style-type: none"> 非再生性資源の使用量を削減(躯体と仕上材が容易に分別可能 鉄骨ALC構造により将来の再利用性向上) 	<ul style="list-style-type: none"> 交通負荷抑制(自転車置場・駐車場の確保/渋滞・路上駐車車の抑制)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)みやけの里		
	建設地	大阪府茨木市丑寅2-163他		
	用途/区分	病院		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			5
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】					
省エネルギー対策		① CO2削減			
		② 省エネ対策			
項目	評価内容	スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	5.0	5	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊 3.0	4	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0		
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価		
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2		
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0			
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0			
その他					
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項			
	特になし				
特に配慮した事項					